

# 平成 30 年度 第 2 回 貸出文庫新着案内

## 予約受付開始：平成 31 年 3 月 13 日（水）午前 9 時から

書名	著者	出版社	頁	内容説明
ファーストラヴ	しまもと り お 島本理生	文藝春秋 (2018. 5)	299p	臨床心理士の真壁由紀は、父親を刺殺した女子大生・聖山環菜を題材としたノンフィクションの執筆を依頼される。環菜やその周辺の人々と面会を重ねていくうちに、環菜の過去が浮かびあがり…。「家族」という名の迷宮を描く長編小説。 直木賞 159 回(2018 上半期)
赤い風	かじ こ 梶よう子	文藝春秋 (2018. 7)	365p	「荒涼たる原野を 2 年で畑地にせよ」。年貢徴収のため前代未聞の命をくださった川越藩主・柳沢吉保。側近の家老らを現地に派遣し農民を指揮させたが、やがて武士と農民の間には軋轢が生じ…。武士と農民が身分をこえて空前の大開拓に挑む力作歴史長編。
愛なき世界	みうら 三浦しをん	中央公論新社 (2018. 9)	447p	洋食屋の見習い・藤丸陽太は、植物学研究者をめざす本村紗英に恋をした。しかし本村は、三度の飯よりシロイヌナズナ(葉っぱ)の研究が好き。人生のすべてを植物に捧げる本村に、藤丸は恋の光合成を起こせるのか。世界の隅っこが輝きだす草食系恋愛小説。
悪玉伝	あきい 朝井まかて	KADOKAWA (2018. 7)	325p	大坂の炭問屋・木津屋の主の吉兵衛は、稼業は番頭らに任せ、放蕩の限りを尽くしてきた。そこへ兄・久佐衛門の訃報が伝えられる。実家の薪問屋・辰巳屋へ赴き、兄の葬儀の手筈を整える吉兵衛だったが…。将軍までも巻き込んだ江戸時代最大の疑獄事件の結末は？ 第 22 回司馬遼太郎賞
極夜行	かくはた ゆうすけ 角幡唯介	文藝春秋 (2018. 2)	333p	北極圏の冬は極夜と呼ばれる太陽が昇らない季節となる。暗闇のなか氷床を歩き続け 3 カ月ぶりに太陽を見た時、人は何を思うのか。「極夜」を一頭の犬とともに命がけで体感した角幡唯介の記録。闇に向かった冒険ノンフィクション。 Yahoo!ニュース 本屋大賞 ノンフィクション本大賞
送り火	たかはしひろき 高橋弘希	文藝春秋 (2018. 7)	120p	東京から山間の町へ引っ越してきた中学 3 年生の歩。級友とも、うまくやってきたはずだった。あの夏、河へ火を流す日までは…。少年たちは暴力の果てに何を見たのか？ 芥川賞 159 回(2018 上半期)
地球にちりばめられて	たわだ ようこ 多和田葉子	講談社 (2018. 4)	309p	故郷の島国を失った女性 H i r u k o は、テレビ番組に出演したことがきっかけで、言語学を研究する青年クヌートと出会う。彼女はクヌートと共に、この世界のどこかにいるはずの、自分と同じ母語を話す者を探す旅に出る…。言葉のきらめきを発見する越境譚。

- ・ 1 タイトルにつき 20 冊所蔵しています。
- ・ 申込先：埼玉県立熊谷図書館 図書館協力担当

\* 上記内容説明は「トーハンマーク」から引用  
 TEL : 048-523-6291 (代表)  
 FAX : 048-525-2667 (図書館協力担当直通)